

平成 29 年 3 月 22 日

教職員の皆様へ

北翔大学北方圏学術情報センター長

小室晴陽

成果報告会・シンポジウム

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」をめざして

～世代間をつなぎ社会問題を解決する活動をどう継続的に展開するか?～

のご案内

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今週 3 月 26 日 (日) に表記のような成果報告会・シンポジウムを開催いたします。輻輳的な課題の山積する社会問題の解決を考えるにあたり、国立の研究開発法人の社会技術研究開発センター (RISTEX) は「多世代共創社会のデザイン」の重要性を述べています。成熟社会を迎えた現在の我が国では、人口減少・少子高齢化・財政赤字・気候変動などの複合的な問題に直面しており、環境・社会・経済などの多面的な「持続可能性」が大きな課題であり、また、社会全体を考えるだけでなく、若者から高齢者まで、それぞれの生活の質の向上や心の豊かさの実現も求められているとしています。

私たちポルト共同研究グループ A は、自分たちの専門分野を超えて、「持続可能な多世代共創社会のデザイン」の構築を目指し、研究を重ねてきました。その成果の一部を発表いたしますので、教職員の皆様にはぜひお越しいただければと思います。

なお、前日の 3 月 25 日 (土) はポルト 5 階会議室 B にて、上記テーマに関する事前のワークショップ (ブレインストーミング等) も行う予定です。興味・関心のある方は是非参加してください。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。